

平成 29 年度
北海道幼稚園教諭中央リカレント
北海道私立幼稚園冬季教員研修会

＝ 開 催 案 内 ＝

【 平成 28・29 年度 教育研究課題 】

「人生のスタートにこそ良質な教育を」

～ 保育臨床の視点を大切に、保育の質を問いつづけよう ～

日 時：平成 30 年 1 月 10 日（水） 9：20 ～ 16：00

場 所：札幌ガーデンパレス

主 催 北海道幼稚園教諭養成連絡協議会
公益社団法人 北海道私立幼稚園協会

平成 29 年度

北海道幼稚園教諭中央リカレント・北海道私立幼稚園冬季教員研修会

開催要項

日時： 平成 30 年 1 月 10 日（水） 9 時 20 分 から 16 時 00 分

場所： 札幌ガーデンパレス（基調講演・分科会）
〒060-0001 札幌市中央区北 1 条西 6 丁目 3-1 TEL 011-261-5311

対象者： 北海道の私立幼稚園・認定こども園等の教職員

参加費： 2,000 円（昼食なし）

〔 開催趣旨 〕

北海道幼稚園教諭養成連絡協議会と北海道私立幼稚園協会の共催として、例年冬休みに開催している本研修会は、今年度で 13 回目となります。「リカレント（recurrent）」とは、本来「回帰、循環、再現」という意味ですが、幼稚園教諭・保育教諭の場合に置きかえると、養成校卒業後も生涯にわたって繰り返し学び続けることであり、職場→研修→職場→研修というサイクルを確立することによって専門性を高め、保育者として育ち続けていこうという意義をもっています。

来年度から、新しい幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針のもとで幼児教育が行われます。そこで、今年度の本研修会は、教育要領等の改訂を大きな柱としました。午前中の基調講演では基本的な事項を全体で学び、午後の分科会では、役職や経験年数別に、より実践に結び付き広く深い視点を持てるような内容にしました。幼児教育の無償化が加速度的に進んでいきそうな状況の中、公教育の担い手である私たちが、各園の建学の精神を大切にしながら、より良質な教育に向かって学び続けていくきっかけに、本研修会が位置付けられることを願います。設置者、園長の皆様方には、教職員の参加について特段のご配慮をいただきますよう、よろしく願いいたします。

公益社団法人北海道私立幼稚園協会
教育研究委員長 藪 淳一

〔 開会式 〕

- ◎ 司 会 公益社団法人北海道私立幼稚園協会 教育研究委員
- ◎ 挨拶 北海道幼稚園教諭養成校協会 会長 工藤 勉 (光塩学園女子短期大学)
公益社団法人北海道私立幼稚園協会 会長 川畠 教孝 (北海道幼稚園教諭養成連絡協議会会長)
- ◎ 祝 辞 北海道総務部法務・法人局 学事課長 所 健一郎 様
- ◎ 進行説明 公益社団法人北海道私立幼稚園協会 教育研究委員長 藪 淳一

〔 日程表 〕

9:00	9:20	9:50	11:40	13:00	16:00
受付	開会式	基調講演 松蔭大学 教授 山下文一 先生	昼食		分科会

【 基調講演 】

研修俯瞰図カテゴリー：E1
(旧カテゴリー：E1)

演題 「質の高い教育・保育の実現をめざして

－ 新幼稚園教育要領等がめざすもの －

〔講師〕 松蔭大学コミュニケーション文化学部 子ども学科
学科長・教授 山下文一 先生

(講演概要)

社会の変化は加速度を増し、複雑で予測困難な状況になっています。このような社会において、子どもたちが自らの可能性を発揮し、よりよい社会と幸福な人生の作り手となっていくために、今私たちは何を大切にしていかなければならないのでしょうか。

平成 29 年 3 月に告示され、30 年の 4 月から実施される幼稚園教育要領を、「社会に開かれた教育課程」「幼稚園教育において育みたい資質・能力」「小学校教育との円滑な接続」「カリキュラム・マネジメント」などをキーワードにして考えていきたいと思えます。

(プロフィール)

高知県公立小学校勤務、高知県教育委員会、文部科学省初等中等教育局幼児教育課、高知学園短期大学幼児保育学科准教授を経て、平成 29 年 4 月より現職。高知県幼保支援スーパーバイザーを務める他、文部科学省の幼児教育部会の委員、並びに内閣府の幼保連携型認定こども園教育・保育要領の改訂に関する検討会委員として、今回の改訂の審議に関わる。専門は、幼児教育、就学前の教育行政、保幼小接続、子育て支援。主な著書に、『よくわかる中教審 学習指導要領答申のポイント』（共著 教育開発研究所）、『保育内容環境－あなたならどうしますか？』（共著 萌文書林）、『専門職としての保育者：保育者の力量形成に視点をあてて』（共著 光生館）他。

〔第1分科会〕 初任者研修（参加対象：主に1～2年目の教職員）

テーマ：「子ども一人一人に寄り添う保育者をめざして - 幼児理解と環境構成 - 」

講師：松蔭大学コミュニケーション文化学部子ども学科

教授 山下文一先生

（研修内容）

日々の保育の中で、子どもの思いを十分受け止められなかったり、子どもに自分の思いを押し付けてしまったりするなど、葛藤や不安を抱くことも多くあると思います。幼児期にふさわしい教育・保育を行う際に大切なことは、一人一人の幼児に対する理解を深めることです。

今回の要領改訂でも、「幼児理解に基づいた評価」という項目が書き加えられましたが、分科会では子どものエピソード記録から、幼児を理解し、発達に必要な経験を得るための環境構成や教師のかかわり方について学びたいと思います。

研修俯瞰図カテゴリー：D1・E4

（旧カテゴリー：D2・E4）

（講師プロフィール）

高知県公立小学校勤務、高知県教育委員会、文部科学省初等中等教育局幼児教育課、高知学園短期大学幼児保育学科准教授を経て、平成29年4月より現職。高知県幼保支援スーパーバイザーを務める他、文部科学省の幼児教育部会の委員、並びに内閣府の幼保連携型認定こども園教育・保育要領の改訂に関する検討会委員として、今回の改訂の審議に関わる。専門は、幼児教育、就学前の教育行政、保幼小接続、子育て支援。主な著書に、『よくわかる中教審 学習指導要領答申のポイント』（共著 教育開発研究所）、『保育内容環境－あなたならどうしますか？』（共著 萌文書林）、『専門職としての保育者：保育者の力量形成に視点をあてて』（共著 光生館）他。

〔 第2分科会 〕 中堅教員研修（主に3年目以降の教職員）

テーマ：「幼稚園教育要領等の改訂を、具体的な実践の中で実現するために

～子どもの学びを大切にした教育・保育～」

講師：玉川大学教育学部乳幼児発達学科教授

学校法人育愛学園理事長・四季の森幼稚園園長 若月芳浩 先生

（研修内容）

目の前に迫った教育要領等の改訂を教育・保育の現場ではどのように受け止めることが必要でしょうか。この分科会では、具体的な子どもの姿から、改訂の趣旨を実現するために、日々の保育の中から具現化する必要かあることを以下の視点から考えてみたいと思います。

- ・改訂の趣旨と実践の関係
- ・主体的・対話的・深い学びのプロセスを観る目
- ・各園の教育・保育を見直す必要性と改訂の関係
- ・子どもが肯定的に見えることと学びのプロセス、その記録と発信

以上のような内容について、皆様と研修を通して深めることができれば幸いです。

研修俯瞰図カテゴリー：B5・E1

（旧カテゴリー：E1・E2）

（プロフィール）

東京都の私立幼稚園、香蘭幼稚園教諭として担任保育者を15年以上経験し、主任、副園長を経て園長に至る。また、教員養成としては、聖ヶ丘教育福祉専門学校、和泉短期大学、玉川大学非常勤講師を経て現在に至る。

現在、横浜市にある私立四季の森幼稚園園長として園の運営及び経営、保育改革に取り組む。保育の実践と研究の中でも、障害のある子どもを含む保育、子育てに関する保護者支援、保育の質の向上のための園内研究のあり方などについて日々検討している。

主な著書に『保育内容の指導法「環境」「人間関係』』（玉川大学出版部）、『障害児保育入門』（ミネルヴァ書房）、『特別支援教育で育つ子どもたち』（学事出版）、『保育原理』（ミネルヴァ書房）他。

〔 第3分科会 〕 設置者・園長・主任・主幹/指導教諭研修

テーマ：「幼稚園教育要領等の改訂を“斬る”～これからの幼児教育に求められるもの～」

講師：聖徳大学児童学部児童学科 教授 小田 豊 先生

公益財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構副理事長

学校法人あけぼの学園 理事長 安家 周一 先生

（研修内容）

前半は、幼稚園教育要領の過去の改訂に直接携わった小田豊先生に、教育要領の変遷と各改訂のポイントを解説していただくとともに、過去の改訂が教育現場にどのような影響をもたらしたか振り返っていただきます。後半は、小田先生と安家先生との対談形式で、新しい教育要領等のポイントをかみ砕きながら、改訂の社会的背景、留意すべき課題や問題点なども含め、今回の改訂を多様な角度から「斬って」いただき、これからの幼児教育のあり方を参加者とともに考えます。

研修俯瞰図カテゴリ：C3・E1

(旧カテゴリ：C3・E1)

小田 豊 先生

（プロフィール）

広島大学教育学部教育専攻科修了。滋賀大学教育学部助教授・教授、文部科学省初等中等教育局主任視学官、国立教育政策研究所次長、国立特別支援教育総合研究所所長等を歴任し、2013年より現職。他に、文部科学省視学委員、横浜創英大学学術顧問等を兼ねる。主な著書に『幼保一体化の変遷』（北大路書房）、『子どもの遊びの世界を知り、学び、考える！』（ひかりのくに）、『家庭のなかのカウンセリング・マインド』（北大路書房）、『保育内容総論（新保育シリーズ）』（光生館）他、多数。

安家 周一 先生

（プロフィール）

兵庫教育大学学校教育科幼児教育コース発達心理学専攻修了。学校法人あけぼの学園理事長、あけぼの幼稚園・あけぼの保育園園長。他に、社会福祉法人あけぼの事業福祉会理事長として、豊中あけぼの保育園・あけぼのベビーセンター等の施設を運営。梅花女子大学特任教授。主な著書に『新幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領がわかる本』（ひかりのくに）、『保護者との対応事例100』（世界文化社）、『心の通う保育計画の記入事例集』（黎明書房）他。

----- [参加申込要領] -----

◆ 申込方法：参加申込書に必要事項を記載し、下記宛にお送りください。

◆ 参加費：1名 2,000円（昼食なし）

参加費は下記の口座にお振込下さい。（振込手数料は幼稚園でご負担下さい）

北海道銀行 道庁支店 普通預金 0688598
口座名義人 公益社団法人北海道私立幼稚園協会

◆ 申込期限：12月8日（金）必着

◆ 申込先：〒060-0001 札幌市中央区北1条西6丁目3-1 北海道会館5階
公益社団法人 北海道私立幼稚園協会 事務局
TEL：011-222-2548 ・ FAX：011-232-4521
E-mail：info@hokushiyou.or.jp

[会場ご案内]

札幌ガーデンパレス

〒060-0001 札幌市中央区北1条西6丁目3-1 TEL 011-261-5311



〔下のQRコードをスマートフォンなど読み取ると会場の地図が開きます〕



平成 29 年度
北海道幼稚園教諭中央リカレント・北海道私立幼稚園冬季教員研修会

【 参加申込書 】

園名				代表者名		
所在地	〒 (TEL)					
職 名	参 加 者 氏 名	年 齢	経 験 年 数	希望分科会		
				第一希望	第二希望	
			年			
			年			
			年			
			年			
			年			
合 計	参加者数 名					
	参加費金額（1人2,000円×参加人数）				円	

※ 「分科会希望」欄には、第二希望まで番号で記載してください。

※ 「分科会」が希望者多数となった場合には、会場の都合により参加分科会を調整させていただきますのでご了承ください。

分科会が第二希望に変更となった方には、電話または文書等いずれかにてご連絡させていただきます。

※ この申込書は北私幼ホームページからダウンロードできます。（冬季教員研修会開催案内ページより）

〔 申込先 〕

公益社団法人 北海道私立幼稚園協会 事務局
FAX : 011-232-4521 ・ E-mail : info@hokushiyou.or.jp

【お申し込みから参加までの流れ】

1. 「参加申込書」に必要事項を記入の上、申込期限(12月8日(金))までにお申し込み下さい。

※参加費もあわせてお振り込み下さい。



2. 各園にお申し込みいただいた参加者分の参加証(園名・氏名・参加分科会等が記載されています)をお送りいたしますので、参加される先生にお渡し下さい。(参加証は12月19日頃各園に到着予定)



3. 研修当日は参加証を機械にタッチすると自動的に来場受付がされますので、必ず参加証をご持参下さい。